

校長室より

「二松から飛翔へ」

二松学舎大学附属高等学校
校長 鶴飼教之

授業参観 PART 4

GW 谷間となった1日と2日ですが、学校はカレンダー通り通常の授業日でした。二日間で6名の先生方の授業参観ができました。

【落合 友美子 先生 5月1日(月) 2限「日本史」3年E組】

休み時間に教室に入るとすでに落合先生は黒板に向かって関ヶ原の地図や徳川、石田と書かれた数枚のネームプレートを用意中でした。天下分け目の合戦の様子が展開されるのだろうとワクワクして参観に臨みました。導入は豊臣秀吉の朝鮮出兵の話題からスタート。大阪(日本)人からみた秀吉は、地元の英雄。でも朝鮮からみると侵略者です。ところ変われば・・・物事は様々な視点・角度から見ることが大事なことを教えてくださいました。



【兼子 航 先生 5月1日(月) 3限「数学Ⅰ」1年A組】

授業開始と同時にグループごとに着席するように兼子先生から指示ができました。探求グループごとに問題演習を解くことで、お互いに教えあったり、確認しあったりすることが自分自身の学びや理解につながるというねらいがあるようです。早速、班の中で相談しながら演習問題に取り組んでいました。先生からの解説だけでなく、自分たちで解法を説明しあう授業も理解が深まりますね。



【有賀 雅雪 先生 5月1日(月) 4限「数学Ⅱ」2年B組】

今日のテーマは1年生で学習した「2次方程式の解の公式」の復習確認をしながら、「複素数」も含めて解を導き出す練習です。何度も何度も繰り返し復習することで知識を定着させるでしょう。板書された内容から有賀先生の丁寧な指導が伝わります。黒板への板書は2往復半ぐらいしたでしょうか？ 数学も「数Ⅱ」になると難解になってきます。しっかりと取り組んでいきましょう。



【車田 忠継 先生 5月2日(火) 2限「日本史」2年F組】

「○○君、あれなんだったっけ」、「□□さん、これなんて言う」などと絶えず生徒とのキャッチボールをしながら授業は軽快なリズムでテンポよく進んでいきます。車田先生のアクティブな姿勢は写真からもうかがえます。邪馬台国はどこにあったのか？という古くからのテーマについて検討しました。後半の15分は、班ごとに歴史の疑問から課題を設定し、解決に導くという授業。課題設定が中々むづかしいですね。

【齋藤 真一 先生 5月2日(火) 3限「数学Ⅱ」2年E組】

理系クラスでの授業で早いスピードで進んでいるようです。冒頭の小テストは計算ミスやケアレスミスを防ぐ訓練になります。解き方が分かっていても計算ミスで失点は痛い。50分間、齋藤先生のエネルギッシュな解説が続きます。吹奏楽で鍛えたせいかわかりませんが、机の周りをまわり、課題を発見すると「こんなところは勘違いしやすいんだけど」と全体で共有していました。



【永井 哲二 先生 5月2日(火) 4限「世界史」3年AB組】

歴史演習は世界史と日本史に分かれ、このクラスは、世界史選択者14名が学びます。最初はオランダのことを学ぶために永井先生が用意した『フランダースの犬』のビデオ視聴の予定。休み時間中からリハが始まっていたので楽しみでしたが、機器不良でNG。イメージを伝えようとはしますが、ジェネレーションギャップもあり、難航しました。その後、オランダやイギリスの台頭についてエピソードを交えつつ授業は進みました。